

JCHO 高岡ふしき病院を訪問しました 【2020年11月19日(木)】

クラスターが発生した富山リハビリテーションホームに派遣された看護師さんと軽症者の療養施設となっている山田温泉玄猿楼に派遣された看護師さんから話を伺いました。

感染のリスクを顧みず、「私が行きます」と手を上げられたお二人に高島病院長や田井看護部長さんは「頭が下がります」そして、「黙って送り出してくださった家族の皆様にも感謝しています」と言っておられました。防護服、N95のマスクを着用しての看護ケアは、息苦しく汗びっしょりで、3時間が限界。してあげたくてもできない看護ケアの限界が辛かったそうです。

また、訪問看護ステーションの管理者さんからは高齢者の一人暮らし、老々介護の利用者が増えているなかで、「かかりつけ医」の調整に困難を要していること、通院せずとも診療が可能な「オンライン診療」への期待、特定行為研修の支援制度等について話を伺い、1時間ほどでしたがしっかりと現場の声を聴かせていただきました。

富山県でも新型コロナウイルスの第3波の到来が懸念されています。感染リスクはゼロにはなりません。感染を制御する新たな生活様式を取り入れ、ストレスに負けないよう心のケアも行っていきたいものです。

(文責 大井きよみ)



田井看護部長、大井副会長、三谷会長、般若看護師、高木副部長



保育園からの応援メッセージ